

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年8月6日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 4670102690 |
| 法人名 | (有) ライフサポート |
| 事業所名 | グループホームたんぼぼの里 |
| 所在地 | 鹿児島市下福元町6718番地 (電話) 099-210-8812 |
| 自己評価作成日 | 平成27年6月30日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号 |
| 訪問調査日 | 平成27年7月25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型施設を目指す為にどのような方法があるのか、運営推進会議、スタッフ会にて話題に取り上げ、ホーム行事やレクリエーションに参加していただけるように働きかけています。

町内会の回覧板やホームの掲示板を利用して、3月はいちご狩り、8月のぶどう狩り、11月はみかん狩りと季節毎の収穫を楽しんでもらっています。9月の夕涼み会では地元の小中学生に声をかけ、父兄と共に、スイカ割りやゲーム等で交流を深めています。

年々、顔見知りが増え言葉を交わすようになりました。今後は地域の方がいつでも遊びに来てくれるような雰囲気をつくりあげていきたいと思えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○「地域の中でその人らしく安心して暮らし続ける」といったホームの理念は、開設2年目に職員全員で話し合い作られたものであり、地域密着型施設を意識して理念に寄り添い目標を達成するため、ユニットごとに毎月の努力目標を決めてより良いケアの充実に精進している。

○ホームは、地域と密接に関わり相互の協力体制が構築されており、行事への参加や、消防訓練、運営推進会議への参加などを通じて関係性を深めている。

○毎月19日は防災自主訓練を実施し、毎回テーマを決めて職員の意識向上を目指し、利用者や職員の生命や財産などを守り安心・安全な暮らしの実現を心がけている。

○ホームは、重度化した場合や看取りについても柔軟に取り組んでおり、対応に関する指針を設けて、利用者、家族、医療機関、関係機関などと協力関係を築き本人や家族の意向をその都度確認した上で最善の策を検討している。看取りの実例も多くケアカンファレンス、ヒヤリハット事例検討会を開催をするなど職員の知識研鑽のため勉強会にも力を入れている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | (地域の中でその人らしく安心して暮らし続ける」を理念に掲げていますが、毎月努力目標をつくり、目標をクリアできるように努力しています。 | 地域を意識した理念は、2年目に職員会議で話し合い変更している。職員は、理念に沿った毎月の努力目標に向けて各ユニットごとに日々実践している。理念は、毎朝唱和し共有され職員全員に浸透している。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 毎月のスタッフ会にて理念を課題に取り上げ、具体的な取り組み方について意見交換を行っています。毎朝の申し送り時には理念を唱和することで意識を高めています。 | ホームは地域行事を通じて利用者が地域と繋がるように、運動会や駅伝の応援などに積極的に参加し、地域もホームの年中行事に協力し参加するなど互いに関係性を深めている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | 運営推進会議にて事例を出し、現在実行している支援の方法などを報告しています。出席している民生委員が経験豊富なので事例についての意見交換をしています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では、ホームで悩んでいる事例を報告して出席者の率直な意見を聞き、参考にしてケアの向上に活かしている。 | 会議は定期的開催され、ホームの活動報告や運営についての課題などメンバーからの意見やアドバイス、情報提供を受けて、議事録を回覧するなど情報を共有し、出された意見をケアに活かし、改善を図るなどサービスの向上に努めている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 保護申請者が10人います。キーパーソンがいない方もいるので担当者にはホームの現状を伝え協力をお願いしている。 | 市担当者や地域包括支援センター、福祉担当者には利用者の日頃の暮らしぶりやケアについて報告して助言やアドバイスなどをもらい、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 開所以来、玄関の施錠はしないことで習慣づいている。身体拘束は行わないケアを周知している。 | 職員は、身体拘束をしない取組を実践しており、鍵をかけない自由な暮らしの大切さについて共通理解するとともに身体拘束への弊害についても認識している。勉強会で知識を研鑽し、マニュアルを順守して、職員間の連携・連絡を図り、安全な暮らしに努めている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | スタッフ会議では虐待について具体的に話して意見交換をしている。特に声かけが威圧的だったり、命令になって利用者の負担になっていないか指導している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度についての外部研修があれば、主任、リーダーが出席してスタッフ会や全体朝礼等報告している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前よりホームの仕組みや役割について説明して、家族や本人の不安や疑問に答えている。契約締結に、出来るだけ文章にて確認を行っている。改定の時には文章にて報告して確認印にて納得してもらっている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 9月の家族会では意見や要望を聞く時間を1時間程度設けている。結果は家族の面会時や運営推進会議で報告して地域の方々と意見交換をしている。スタッフ会議では今後の支援の参考にしている。 | 利用者、家族には日頃から意見を出しやすい雰囲気作りや関係性が深められるよう取り組んでいる。また、家族会でも意見や要望を聞く機会を設けており、提案された意見などは、職員間で話し合い、運営推進会議で報告などし、十分検討した上で日々のケアに活かしている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1回のスタッフ会議には、代表者に出席してもらい、率直な意見を交換している。出席がない時には議事録にて報告し、意見や方針を聞いている。 | 各ユニットごとの毎月の会議には、運営者も参加し、議題について職員と話し合い、意見交換して業務改善やサービスの質の向上などに繋げている。ホームは、子育て支援にも積極的に取り組むなど職場環境に配慮している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年1回スタッフの評価を行ない、代表者からスタッフに声かけして、各自が向上心を持って働けるような環境整備に努めている。条件が叶ったスタッフは正社員として登用している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>社内勉強会を毎月行ってケアの向上に努めている。外部研修も可能な限り参加できる体制をつくっている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>谷山地区勉強会には積極的に参加し、他のホームとの関わりを深めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入居前より本人が一番不安な事や要望を家族や情報提供書等で聞き、入居時には出来るだけ納得した状態で生活が始められるように努めています。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>入居前より家族に来園してもらい、家族の希望や要求をきき、出来るだけ希望に添えるように努力することをお伝えしています。家族と協力してホームでの生活が維持できることをお話しています。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>入居前よりまず何を一番優先するかを話し合っています。又「その時」は家族とその都度連携を図っていくことを確認しています。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>趣味等を通して楽しく生きがいを持って生活できるように声かけや見守りをしています。スタッフは業務優先にならないようお互いに声かけ合っています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 常に本人優先の支援を心掛けています。家族の面会時間は大切な時間と認識して邪魔をしないように配慮しています。家族の協力なしでは本人を支えていけない事をスタッフ会議などで確認しています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 住み慣れた場所への訪問は家族にお願いしています。家族が無理な時にはスタッフが本人の希望する場所に同行しています。暑中見舞いや年賀状などはがき購入等支援し、関係が途切れないようにしています。 | 家族が地域に暮らす利用者が多く、墓参りや自宅訪問は家族に依頼している。また、年賀状、暑中見舞い、電話を通じて親しい方などとの関係性が途切れることがないよう支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | プライベートな時間も大切にしながら、ホールで他利用者とおしゃべりをする時間も提供しています。特に昼食後は直ぐにお部屋にてお昼寝するのではなく、ゆっくりとした時間を提供しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去された後も年賀状の交換をして必要に応じて相談や支援に努めています。又ホームの行事（みかん狩り、ブドウ狩）などの参加への声かけをしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | スタッフから声かけし、本人の思いをや要望の把握に努力している。会話をすることで本人の意向がわかり支援に繋がっています。困難な時には家族の意向を聞き、本人優先の支援をしています。 | それぞれの担当者が中心となり、本人の話を傾聴しコミュニケーション活動の中から本人の真の思いや希望などを聞き取り、職員間で意見交換して情報を共有し本人の思いに寄り添うケアの実践に努力している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前より情報提供書や家族からの聞き取りで、本人本位の支援が出来るように努めています。本人がホームでどんな生活をしたいかを優先しています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 入居時に本人から情報を出来るだけ聞き出しています。家族からの情報も大事ですが、本人の想いを聞いています。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 面会時などで得た情報や本人の兼ねての行動で、本人にとってどんな支援が必要かをスタッフ会等で話し合い、実践しています。現状に合ったケアプラン作成づくりに努力しています。 | 定期的なケアカンファレンスを行い本人の思いを受け止め、家族の意向に配慮した現状に即した介護計画を作成している。また、モニタリングを定期的の実施し、見直しなど柔軟に取り組んでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の記録のヒヤリハットや気づきノートを、スタッフ会議で検討し意見交換を行っている。その結果をケアプランの見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族の状況には臨機応変に対応している。本人の体調変化には、家族と連携をとって早め対応を心掛けている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の行事がある時にはお誘いの声かけをして、出来るだけ参加してもらっています。地域の運動会や駅伝応援など一生懸命応援する姿は元気の源のようです。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時に本人や家族の希望する主治医をお願いしています。これまで連携の取れていなかった医療機関が主治医になった時には適切な医療が受けられるように支援しています。 | 本人、家族が希望するかかりつけ医になっている。遠方の家族には月1回は電話で健康状態などを報告したり、緊急の場合は随時連絡している。訪問歯科診療、薬剤師訪問指導、認知症外来の受診など支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日中在宅介護を行うことになった利用者や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 利用者の異変に気付いた時にはマニュアル通りの対応が出来る体制を整えている。日中はナースが常駐しているので、ナースに連絡し、指示を仰いでいます。又家族にも連絡することが必要と周知徹底している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 利用者が安心して治療を受けることができるように情報提供書を提供して支援しています。また早期に退院できるように主治医と連携を図っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に看取りについて説明し理解を得て入居してもらっています。ホームで出来ること、出来ない事を明確にお話しています。家族には入居時の意向を書類にて確認しています。 | 入所時、本人、家族の意向を確認した上で、「重度化した場合の対応に係る指針」「医師や医療機関との連携体制」について医療連携体制同意書を取っている。重度化した場合にはその都度本人、家族と十分に話し合いを行い説明し、チームケアに取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | ホームにAEDを設置しておりますので、年1回は消防署による研修とナースによる実地研修を行い、緊急時に備えています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>毎月テーマに沿った防火訓練を実施しております。出来るだけ全員のスタッフが参加できる勤務体制にしております。ホーム内での防火連絡網が出来ております。年2回の消防署立会いの総合訓練には地域の方々へチラシを配り協力をお願いしています。</p> | <p>年2回の消防訓練、毎月19日はテーマを決めての自主防災訓練を実施している。地域の各家庭にチラシを配布しており、地域住民の協力体制は確保している。隣接のお泊まりデイ施設やユニット職員の協力体制もある。また、水や食料の備蓄も整えている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 慣れ合い過ぎない声かけを心掛けています。尊敬の念を忘れないようスタッフ会議などで話題にしています。 | 定例会議などでプライバシー保護について触れるよう心がけており、日々のケアでも利用者の人格を尊重し、年長者として敬い失礼のない態度で接している。特に言葉使いには馴れ合いにならないよう十分配慮し、対応している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 受診や外出日等外出の際は本人のお気に入りの洋服で出掛けて頂いています。その瞬間で希望が変わる時がありますが、出来るだけ希望を取り入れています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務優先にならないようにスタッフ同士で声をかけ合っています。事前に希望や要望を聞いて余裕を持って行動できるようにしております。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 家族からの情報や兼ねての本人の見だしなみをみて、できる助言をしています。本人の意思を尊重した支援をしています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来ることがそれぞれ違いますので、本人に合った手伝いをお願いしています。お願いが強制にならないよう声かけには充分気をつけています。 | 献立は1週間分ごとに作成しているが、各ユニットごとに利用者の能力などを勘案し、無理のない範囲でお手伝いをもらうなど調理や片付けなどに取り組んでいる。また、行事食や外食を積極的に取り入れ、食が楽しみになるよう工夫している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量や水分量を日々の記録に残し、体調管理をしています。一人ひとりの状態にあった摂取量を確保できるようにスタッフ間で声かけ合っています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食ごとに声をかけ洗面台に案内しています。歯磨きを嫌がる時にはうがいだけの支援になる時もありますが、強制にならないように本人の意向を尊重しながら支援しています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 出来るだけオムツ使用を減らす支援が出来るようにスタッフ会議で検討しています。オムツ使の利用者でも日中は声かけして、トイレにての排泄介助を行っています。 | 排泄のリズムや習慣などに着目し、自尊心に配慮しながら排泄ができるよう声かけや誘導をしている。職員は、おむつが減らせるようスタッフ会議で検討し、なるべくトイレで排泄ができるよう自立支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 出来るだけ体を動かすことを支援しています。レクリエーションでの指運動など積極的に行っています。車椅子移動の利用者には可能な限り自力移動への声かけを行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴日には本人の入りたい時間を聞いていますが、直前に変更になることも多いですので、臨機応変に対応しています。出来るだけ入浴日と決めないで柔軟に対応できる体制をつくっています。 | 隔日ごとに入浴を支援しているが、個々の希望に沿った入浴ができるよう支援している。入浴をためらう方には、交代で声かけするなど柔軟に取り組み、同性介助に配慮している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 年齢を考慮して昼食後はお昼寝を30分程度勧めています。夜間は出来るだけ音を出さないように配慮しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬局が出すお薬の説明書を必ず読むようにしています。薬の変更などはその都度確認してスタッフ全員が情報を共有できるようにしています。誤訳がないようにスタッフ会議では話題にして二重確認を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | カラオケ、絵描きなどホームで出来る好きな事ができるように支援しています。本人に合った楽しみごとが出来るように支援しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | お天気がぬるす限り散歩やショッピングを楽しんでもらっています。年1回の一泊旅行には家族の協力ももらいながら、実行しています。 | 毎朝、散歩に行かれる方には早出の職員が対応して近隣住民との交流活動が促進されている。各ユニットごとに毎月の外出支援計画を作成し、外食を楽しんだり個別の外出を楽しめるよう支援している。また、毎年利用者、職員との合同1泊旅行を計画し、年中行事になっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>家族と相談し、高額でない程度のおこずかいをもっている方や家族の希望でホームでの管理になっています。ホームでの管理の方もショッピングの際は自力での支払いが出来るように支援しています。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>本人の希望があったり、ホームからの連絡の際は、本人にも電話にてお話しする機会をもうけています。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ホールにはソファを置いたり、ゆっくりできる空間をつくっている。蛍光灯は出来るだけ目に優しい物を使っている。玄関や洗面所には季節の生花を飾り、気持ちよく生活できるように支援している。</p> | <p>玄関には、季節の生花が飾られ、季節を感じさせるオブジェ、折り紙などの作品が展示されている。各ユニットごとにそれぞれ特色があり個性的で独特な生活の様子が感じられる。1階リビングは中庭に面しウッドデッキがあり、2階リビングはテラスが作られているため解放感があり明るい。また、ソファや畳スペースがあるなど居心地よく過ごせる工夫がしてある。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>気の合った利用者とは会話出来る時間をつくっている。お部屋でゆっくりされているような時には声をかけずそっと見守るようにしています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に本人のお気に入りの物を持ち込んでいただいています但途中で自由に入れ替えて気分を変えてもらったりしています。 | テレビ（DVDデッキ含む）や冷蔵庫、タンスや遺影など本人や家族の思いやそれぞれの使い慣れた品々を持ち込み安心して過ごせる空間に配慮している。ベット、タンスは備え付けである。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレに目印をつけたり、洗面台には常時明かりをつけて夜間でも自由に移動できるようにしています。移動に気付いたら出来るだけ見守るようにしています。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | ○ | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |